

誰もが誰かのサンタになれる。



H₂Oサンタ

チャリティー活動報告



VOL.16

たまたま、偶然、なんとなく、 そんなきっかけでも、世界は広がっていく

先日、2つの社会貢献団体の方から、活動を始めたきっかけについて興味深いお話をうかがいました。おひとりは、学生時代の就職活動で第一希望の就職が叶わず「なんとなく」社会貢献団体で働き始められました。もうひとりは、以前からのお仕事に加えこの数年、社会貢献団体でのお仕事もされています。きっかけは、先輩からの「押しつけ」で活動を始められたそうです。おふたりの共通点は「なんとなく」や「押し付け」などの「成り行き」で社会貢献団体と関わるようになったこと。始める前は、社会貢献についてあまり知識がなく、正直なところ、それほど興味があった訳でもなかったそうです。しかし、活動を続けていくうちに「ありがとう」と言われたり、誰かの役に立てたと実感することが積み重ねることによってその意味がわかり、十数年、活動を続けられています。

世の中には自分が知らない世界があって、多くの発見や新たな価値観に触れ、日々の自分の行動が結果に結びつくことで少しずつ自信とやりがいを感じていったそうです。「少し大きですが、今では自分の人生をかけて他の人の人生にかかわる覚悟を持ち、仕事と同様に、生活する中でなくてはならない自分の一部分になっている」とのお言葉が印象的でした。NPOなどで社会貢献活動を行う人について「すごいな」「自分にはマネできないな」と思っている方が多いかもしれません。何かを始めるきっかけは様々です。また、人生の転機はふとしたきっかけで訪れ、それが生きがいにもなり、やりがいにもなる。そう言えば、私にも重なる部分があるな、と。

H₂Oサンタの合言葉は、「誰もが誰かのサンタになれる」です。



一般財団法人H₂Oサンタ
事務局長 外間孝次

地域社会にチャリティーの文化を創造するために。

6月27日(木)賛助会員みなさまに「H₂Oサンタ」の1年間の活動を報告いたしました。

3回目となる『H₂Oサンタ活動報告会』に、多くの賛助会員様がお集まりくださいました。理事の林より、H₂Oサンタの活動を支えてくださっている感謝の意をお伝えした後、事務局長の外間から、社会貢献団体と一般の方々をつなぐことを通じて、お金だけではなく、モノや特技など個人が持つ様々な“財”を社会貢献団体の課題解決に役立てる機会を提供するH₂Oサンタの取り組みについてご報告いたしました。また、H₂Oサンタが支援している中から4団体、「NPO法人JHD&C(ジャーダック)」（病気やけがなどで髪を失ったこどもたちにフルオーダー・ウィッグを寄贈する活動）、「公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所」（親が育てられなくなったこどもたちに里親を探す活動）、「認定NPO法人テラ・ルネッサンス」（アフリカの元こども兵の社会復帰支援）、「一般社団法人こどものホスピスプロジェクト」（難病のこどもとその家族を支援）のみなさまからの、団体の活動内容のご説明と支援金の使途、賛助会員様へのメッセージを動画で放映いたしました。



公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所 山上さんからのメッセージ

第二部では社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長 早瀬 昇氏による講演「NPOの課題解決方法～こども支援の現場より～」を開催いたしました。次ページからは、その内容を抜粋してご紹介いたします。

講演「NPOの課題解決方法～子ども支援の現場より～」

社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長 早瀬昇氏

H2Oサンタが支援している社会貢献団体の多くはNPO法人です。このNPOについて、3つの観点からお話しくれました。

1. よく耳にする、『NPO』って？

まずは、NPOとはどのような組織であるかについて分かりやすくご解説いただきました。

NPOとは

NPOは、非営利組織を表す英語“Non-profit Organization”の頭文字ですが、NPOの活動の本質は、Not-for-Profit But-for-Mission Organizationという表現で表すことができます。利益のためではなく、ミッション（使命）を実現するための組織、それこそがNPOの核心です。ちなみにNPOはアメリカ英語で、英国では、Voluntary Organization（ボランティア組織）といいます。



社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長 早瀬昇氏

NPOの特徴は、行政や企業といった枠組みにとらわれることなく、自発的に活動することです。この自発的な行動の強みが社会に認知されるようになったのは、阪神淡路大震災、東日本大震災など平成の時代を襲った大規模災害被災地での市民によるボランティア活動でした。このような活動を通して見てきたのが次に挙げる強みです。まず、迅速に行動できること、そして活動の多彩さや、個々の状況に応じることができる温かみ、新たな活動を開発・創造する力です。一方で、NPOには自発的組織ゆえの弱みがあります。それは、「ここまで活動すれば良い」という“基準”がないことです。誰の了解がなくても、一銭の得にならなくても、「やるときはやる」ボランティア精神で、無理をしてもがんばってしまいがちになります。無理が続くと疲れます。疲れると休みます。休むと「これだからボランティア(NPO)は当てにならない」などと不本意な評価を受けることになります。がんばる人ほど疲れてしまうという課題を、私は「疲労と不信の悪循環」と呼んでいます。ボランティア活動をするときに、悪循環に陥らないためには、まずは1人で抱えこまないこと。そして周りの人たちが、がんばる人を孤立させない、孤軍奮闘させないことが大事です。

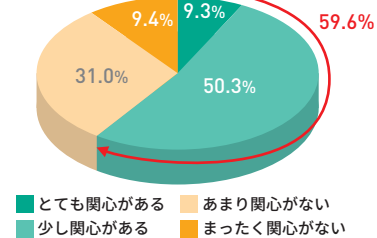
支援をしたい人に、参加機会を提供することがNPOの使命のひとつ

経営学者として有名なピーター・ドラッカーは、NPOの経営についての著書で、NPOにはふたつの顧客があると書いています。ひとつは、「解決したい課題・対象」であり、もうひとつは「支援者」です。支援者を、ともに対象・課題をサポートする仲間ととらえず、顧客だとしています。支援者が顧客であるなら、NPOは支援者に何を提供できるのでしょうか。それは、支援をする「参加の機会」です。NPOは、支援者に寄付やボランティアといった参加の機会を提供することで、組織として自立できるのだとするピーター・ドラッカーが提唱した考えは、実際に世の中の動きにも合っています。内閣府が調査した「ボランティア」への関心と活動経験のギャップ(図1参照)の結果を見ると、約6割の人が関心があるのに対して、実際に活動経験がある人は約2割にとどまっています。

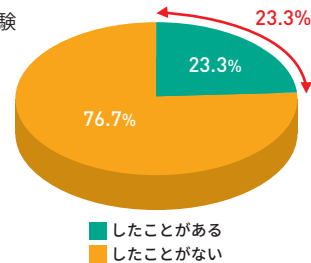
このように関心と活動には、大きなギャップがあるのです。同じく内閣府による調査で

「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思っている人の割合は約65%(図2参照)にのぼります。NPOは、支援をしたいと思っている人に対して寄付をする、ボランティアに参加するといった活動の機会を提供できる団体なのです。そして、参加機会を提供することで、NPOは自らが抱える資金不足や人手不足などの課題を解決することができるのです。

(図1)「ボランティア」への関心と活動経験のギャップ
関心度

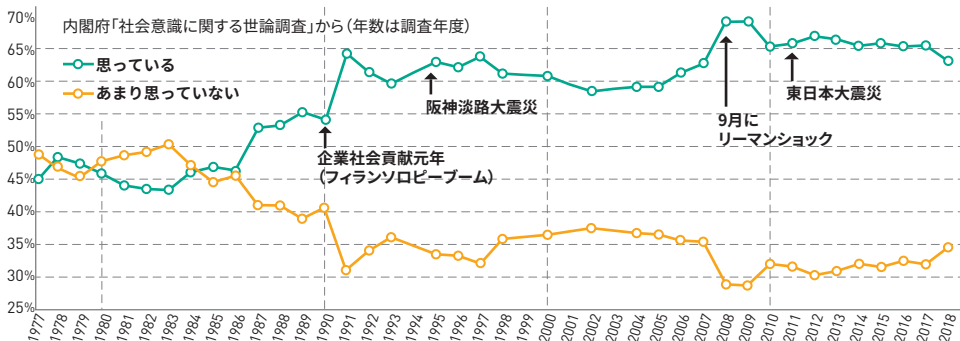


活動経験



内閣府2015年調査から

(図2)「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思ってる人の割合



2. ことも支援活動での「参加」の機会

支援をしたいと思っている人にどのような種類の参加機会があるのかを、ことも支援活動を行なっている5団体を例にご紹介くださいました。

NPO法人

Japan Hair Donation & Charity

〈ジャーダック〉

病気やケガなどにより頭髮に悩みを抱える18歳以下の子どもたちに、寄付された人毛で作るウィッグを無償提供されている団体です。2009年の設立以来、358個のウィッグを寄贈しています。賛同ヘアサロンは海外を含めて3,802店。現在、ウィッグを待っているこどもは248名にのぼります。長さ31cm以上の髪の毛の提供や、その仕分けなどのボランティアを募集しています。

1. Japan Hair Donation & Charity

〜ヘア・ドネーションでメディカル・ウィッグを寄贈



頭髮に悩みを抱える18歳以下の子どもたちに、ドナーから提供された髪で作成されたウィッグを無償で寄贈。

2009年の設立以来、358個のウィッグを寄贈。

賛同サロンは海外の10店を含めて3,802店。
(今、ウィッグを待っている人は248人！)

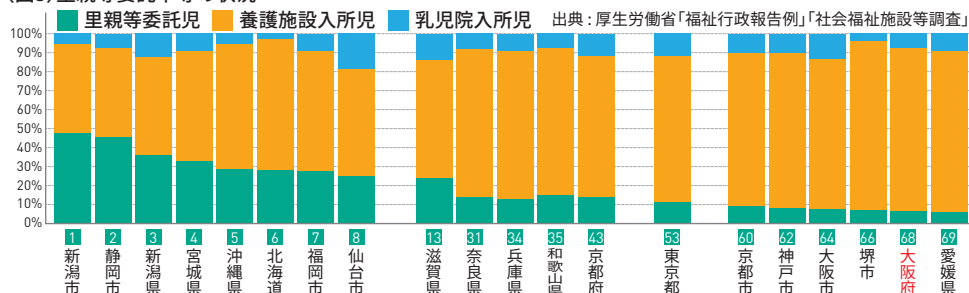
認定NPO法人プール・ボランティア

泳ぐ社会貢献とも呼ばれ、障がい児に泳ぐ楽しさを提供している団体です。「水中ならお任せ」という人にぴったりなボランティアです。2018年度は、113人のボランティアが延べ3,109回活動しました。この活動を利用した障がい児(者)は延べ2,610人にのぼります。「水泳は苦手」という人も、月500円からの「PV応援団寄付」で活動を支援することができます。

公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所

1960年の発足以来、「きょう、社会が子どもを守り、あす、子どもが社会を作る」をスローガンに、里親(家庭養護)の推進を行なっています。毎年、活動資金を得るために、大阪・今宮戎神社の十日戎で飴を販売しています。販売スタッフのボランティアや、飴を購入することで支援することができます。また、里親養護には地域差があり、受入率1位の新潟市では2人に1人は里親が実現しています。関西は全般的に低く大阪府に至っては調査対象全69自治体中68位(図3参照)です。里親になる方が増えるよう啓発活動にも尽力されています。

(図3) 里親等委託率等の状況



NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス

小児がんをはじめとした医療的ケアが必要な子どもと家族のための施設、「家のような病院」です。2010年神戸ポートアイランドに、患者（家族）、医療関係者、自治体、企業の協働により設立されました。支援活動は、子どもたちと接するボランティア、お掃除ボランティア、ウィッシュリスト物品の提供、イベントへの参加、寄付などがあります。

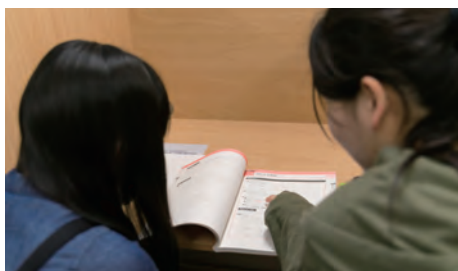


チャイルド・ケモ・ハウス

NPO法人あっとすくーる

ひとり親家庭のこどものための塾を大阪府箕面市と高槻市で運営しています。昨年大阪府北部地震で高槻校が被災したのですがその再建費用1,160万円をクラウド

ファンディングで寄付を募ったところ、671人から目標を上まわる1,547万円が集まりました。この結果、塾に通う子どもたちが「自分たちを支えようと応援してくれる多くの人々がいる」と、社会を信じられる体験を得たことに大きな意味がありました。



あっとすくーる

最後に、ボランティア活動に参加した人に関する興味深いデータを紹介します。図4は、「キャリア展望」※の数値を、所属コミュニティ別に調査したもので、「人生を自分で切りひらいていける」「前向きに取り組んでいける」といったキャリア展望は、ボランティア・NPOに参加している人が最も高いという結果が出ています。ボランティア参加は、キャリア形成にもよい影響があるようです。

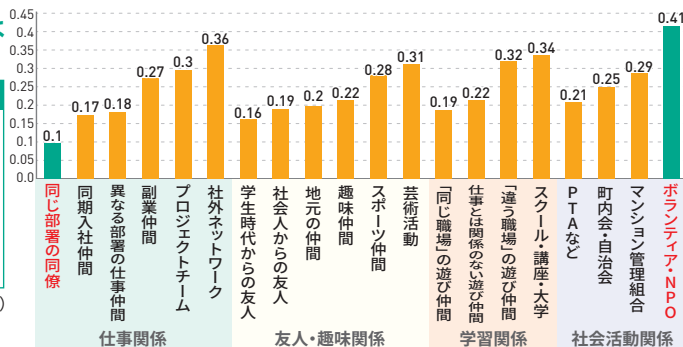
(図4)所属コミュニティと「キャリア展望」の関係(因子得点)

ボランティア活動参加は「前向き」を促進

※キャリア展望とは

今後のキャリアの見通しが開けている状態を意味し、図の数値はこれからのキャリアや人生について「自分で切り開いていける」「前向きに取り組んでいける」「明るく思う」の合成変数。

出典：リクルートワークス研究所(2018年)「人生100年時代のライフキャリア」の掲載図を元に一部修正。



3. ボランティア「参加」の 意欲が高まる鍵

最後に、多くのNPOが課題としているボランティア参加促進の解決方法についてお話ししました。

ボランティア活動の無償性には 意味がある

ボランティアは、報酬を得ないことが基本です。その無償性にはいくつも意義があります。まず、お金が介在しないことによりギブ&テイクの関係を越えた、仲間や同志の関係を築きやすくなることです。また、金銭的尺度での評価を避けることができます。例えば、500円の報酬がある場合、「Aさんは段取りがいいけど、500円支払っているのにBさんは作業が遅い」といった評価をしがちです。無償なら、「いろいろな人がいますね」といった感想にとどまるでしょう。さらに無償であることにより、ボランティア参加者は自己利益を超えた共感性の高い発信ができるのです。もし、街頭募金をしている人がアルバイトだったら共感できるでしょうか。私欲がない行為であるがゆえの発信力、共感力、調整力は、無償の力が成せることなのです。

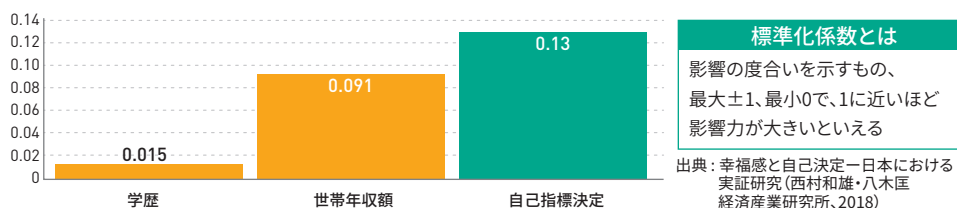
ボランティア参加の意欲を高める 3つの鍵

ボランティア参加の意欲を高めるには3つの鍵があります。

ひとつは、「自律性を高める」こと。つまり、参加者が自ら選択・企画できるようにすることが重要です。自ら選べることで、図5が示す通り、学歴や年収よりも「自分が決定すること」が幸福感をもたらすという結果が出ています。このデータからも分かるように、参加者の気持ちを信じて任せることが、自律性を高めることにつながります。

2つめは、「熟達できる状況を作り出す」ことです。人はやる気があるからできるのではなく、できた経験がやる気を作り出すのです。ですから、少しハードルが高いくらいの目標設定が鍵になります。この法則をよく表しているのがギネス世界記録®への挑戦です。難しいことだからこそ挑戦したくなる感情です。ボランティアへの参加も、やや高めな目標を達成する経験を通して精神的な充足を得られるようになります。

(図5)主観的幸福感を決定する要因の重要度(標準化係数)



3つめは、「大きな目的につながる環境を作る」ことです。多くの人は、自身の活動の意味が分かると意欲が高まります。ですから、ボランティアへの参加を促す際は、役割ごとに明確な意味付けを設定することが鍵になります。例えば、会場案内を担当するスタッフには、「お客様と最初に会う業務なので、イベントの第一印象づくりを担う大切な役割です」と説明することで意欲を高められます。

この3つの鍵に加えて、私たちがボランティアを募る際に心がけていることは、参加しやすさと辞めやすさです。参加したボランティアを拘束し、辞めにくい雰囲気を出し出すNPOには、決して人は集まりません。出入り自由で風通しのよいNPOであることも大切です。

早瀬昇さんの講演をお聴きして、NPOとはどのような意義がある団体で、どんな活動をしているのか。その課題について、さらに理解が深まりました。特にボランティアの無償性についてのコメントには、とても共感することができました。また、チャリティーには、お金の寄付だけでなく、ウィッグにする髪の毛の寄付や、水泳の指導活動など、様々な種類の参加機会があることをお話しいただき、参加の機会を多くの方にご紹介するH₂Oサンタの活動意義を再認識することができました。

レポート:H₂Oサンタ事務局 藤田昌宏

■ H₂O サンタ2018年度の活動

2018年度はチャリティーコンサートとモノによる寄付を受け付ける“モノチャリティー”を初めて開催しました。



チャリティーコンサート〈4月実施〉



モノチャリティー〈7月・1月実施〉



ロハスフェスタ万博〈4月・11月出展〉



NPO フェスティバル〈7月・1月実施〉



チャリティーダンスフェスティバル〈8月・3月実施〉



シンポジウム〈10月実施〉

社会貢献団体スタッフが活動現場をリアルにトーク

土曜日の午後はH₂Oサンタ チャリティートークイベント

4/10「きょうだいの日(シプリングデー)」の制定につながりました!



NPO法人 **しぶたね**
(病気のこどものきょうだい支援)

開催日 4月6日

物品寄付など様々な支援の輪が広がりました!



NPO法人 **西淀川子どもセンター**
(こどもの食事・教育支援)

開催日 4月13日

小児病棟にセラピードッグたちが笑顔をお届けすることができます!



認定NPO法人 **日本レスキュー協会**
(災害救助犬セラピードッグの育成と派遣)

開催日 4月20日

ダンスを通じてこどもたちの笑顔と元気をお届けすることができました!



NPO法人 **アスロン**
(発達障がいのあるこどもたちが対象の運動教室)

開催日 5月4日

多くの方が介助犬の事を理解して応援してくださいました!



NPO法人 **兵庫介助犬協会**
(介助犬の育成、無償貸与)

開催日 5月18日

料理本や食べ物などの現物の寄付をいただけました!



NPO法人 **つなご**
(居場所がない少女のための避難ハウス運営)

開催日 5月25日

関西最大級の野外イベント

『ロハスフェスタ®万博』に5度目の出展

NPOと地域の方々をつなぐことを目的に、大阪・万博記念公園で開催された『ロハスフェスタ万博®2019 Spring』に、4月27日(土)・28日(日)の2日間ブースを出展しました。“たのしい、かんたん。チャリティーパーク”をテーマに、5つの社会貢献団体の活動内容を問題にしたNPOクイズを実施し、2,617名に参加いただきました。「毎回H₂Oサンタのブースを訪れるのを楽しみにしています」といった声も。

レポート:H₂Oサンタ事務局 中田大三



〈紹介した社会貢献団体〉

- NPO法人JHD&C(ジャーダック) (頭髪に悩みを抱える子どもたちへウィッグを提供)
- 一般社団法人ミナファミリー (こども用車いすの社会的認知を高める活動)
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会 (長期入院生活を送るこどもたちの支援)
- NPO法人オーシャンゲート ジャパン (障がい児も楽しめるダイビング体験の提供)
- 認定NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会 (フィリピンのこどもの教育支援)

H2Oサンタ係員がインタビュー形式で進めるチャリティートークイベント。チャリティーガイドでご紹介している団体の中から12の社会貢献団体にご参加いただきました。トーク終了後は募金してくださる方や、団体の支援方法などをたずねる方がたくさんいらっしゃいました。

お問合せや見学、ボランティアが増えました！



認定NPO法人 **プール・ボランティア**
(障がい児へ水泳の体験を提供)

開催日 6月8日

利用者のこどもと一緒に伝える機会を持てたことがありがたかったです。



NPO法人 **あつとすくーる**
(ひとり親家庭のこどもたちの学習支援)

開催日 6月15日

9階の階段席のご来場者の数の多さに圧倒されました。



公益社団法人 **家庭養護促進協会 大阪事務所**
(里親・養親家庭をさがす活動)

開催日 6月22日

保護活動やドクターダッグについて多くの方に伝えることができました！



NPO法人
ペッツ・フォー・ライフ・ジャパン
(行き場を失った動物の保護と動物愛護の啓発活動) 開催日 6月29日

HPを見て来店され、お声をかけていただき、うれしかったです。



NPO法人
西成チャイルド・ケア・センター
(コミュニティへのつながり作りをサポート) 開催日 7月6日

「水を贈る国際活動」のことを知っていたく機会になりうれしく思います。



公益社団法人
アジア協会アジア友の会
(きれいな水がないアジア地域へ井戸を提供) 開催日 7月27日

イズミヤ白梅町店がH2Oサンタを通じて、こども支援団体へ寄付

2019年4月27日(土)イズミヤ白梅町店で「8時間以内で最も多く売れた揚げたてコロッケ」というギネス世界記録®へ挑戦し見事、ギネス世界記録が達成されました。売上294,600円は全て、長期入院生活を送るこどもたちを支援している認定NPO法人日本クリニックラウン協会に寄付いたしました。8月3日(土)阪急うめだ本店9階祝祭広場で開催した“土曜日の午後はH2Oサンタ チャリティートークイベント”でイズミヤ株式会社 布田様(写真右から2人目)に会場いただき、寄付金の贈呈式を行いました。 レポート:H2Oサンタ事務局 藤田昌宏



寄付金贈呈式:阪急うめだ本店 9階 祝祭広場



認定NPO法人
日本クリニックラウン協会

社会貢献団体をご紹介します寄付を募る

チャリティーガイド

●阪急うめだ本店 9階・12階



チャリティーガイドでは、素晴らしい活動をされているのですが、まだ世の中の多くの方がご存知でない社会貢献団体を中心にご紹介しています。2019年4月～7月は、27団体をご紹介し、837,537円を寄付することができました。4月には、NPO法人西成チャイルド・ケア・センターが初めて登場しました。

レポート：H2Oサンタ事務局 宇佐美幸男

NPO法人 西成チャイルド・ケア・センター



地域には、ひとりで悩みを抱える保護者や夕飯をひとりぼっちで食べるこども、宿題を見てくれる人がいない環境など、様々な困りごとを抱えた家庭があります。西成チャイルド・ケア・センターは、孤立した親やこどもがひとりもない地域を目指し、こども食堂の運営を通じて行政の支援制度のはざまの困りごとを、いろいろな立場の人が助け合えるよう、地域とのつながりづくりや地域での居場所を提供する活動を行っています。活動拠点である「にしなり☆こども食堂」は、事前予約の必要がなく、無料で食事を提供。多くのこどもたちが足を運び、にぎやかに食卓を囲んでいます。地域のボランティアの方たちが愛情を込めて作ってくださる食事は、こどもたちにも好評。食事の後は、学習支援として宿題も一緒に。新たな居場所づくりとして2022年には、「～にしなり☆つながりの家～」の完成を目指しています。



くわしくは

NPO法人西成チャイルド・ケア・センター代表 川辺康子さん

たくさんの方に知ってもらっきっかけをいただけたことは、本当にありがたいです。チャリティーガイドをご覧になった支援者からご連絡いただくなど、つながりを実感することもできました。

2019年4月～7月

寄付額合計 7,598,938円

チャリティーガイドやイベントで集まった寄付金を、49団体へ寄付いたしました。
皆様のご協力ありがとうございました。

- あかりバンク
- 認定NPO法人アクセス
ー共生社会をめざす地球市民の会
- 公益社団法人アジア協会アジア友の会
- NPO法人アスロン
- NPO法人あっとオーティズム
- NPO法人あっとすくーる
- NPO法人おおさかこども多文化センター
- NPO法人オーシャンゲート ジャパン
- 公益社団法人家庭養護促進協会
大阪事務所
- NPO法人関西こども文化協会
- NPO法人CAPセンター・JAPAN
- NPO法人子どもセンター むっく
- NPO法人子どもデザイン教室
- 一般社団法人こどものホスピスプロジェクト
- 認定NPO法人児童虐待防止協会
- NPO法人しぶたね
- NPO法人JHD&C (ジャーダック)
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
- 認定NPO法人ジャパンハート
- 公益社団法人ジョイセフ
- 認定NPO法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ
- NPO法人
性暴力被害者支援センター・ひょうご
- 公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- NPO法人そらいろプロジェクト京都
- NPO法人タイ国学生
日本語教育環境支援プロジェクト
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- NPO法人つなご
- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- NPO法人西成チャイルド・ケア・センター
- NPO法人西淀川子どもセンター
- 認定NPO法人日本クリニクラウン協会
- NPO法人日本こども支援協会
- NPO法人日本サービスドッグ協会
- 認定NPO法人日本レスキュー協会
- 一般社団法人ニールック (new-look)
- 認定NPO法人ノーベル
- NPO法人兵庫介助犬協会
- NPO法人兵庫県子ども文化振興協会
- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会
- 認定NPO法人FaSoLabo (ふぁそらぼ) 京都
- NPO法人不登校新聞社
- 認定NPO法人
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
- 認定NPO法人プール・ボランティア
- NPO法人ペッツ・フォー・ライフ・ジャパン
- NPO法人マミー
- 一般社団法人ミナファミリー
- NPO法人メリーミーズ
- NPO法人ラマモンソレイユ
- NPO法人レインボーチルドレン

ボランティアレポート

エイチ・ツー・オー リテイリンググループや法人賛助会員の従業員による、H₂Oサンタが橋渡し役となったボランティア活動をご報告します。

支援の輪をひろげる

個人の活動

認定NPO法人プール・ボランティア



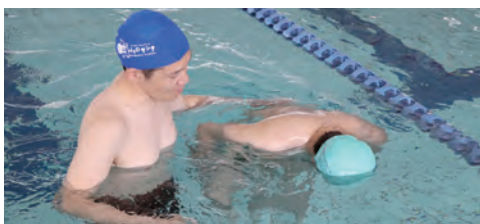
障がい児に、泳ぐ体験をマンツーマンで提供。

得意の水泳を生かせるボランティアだから、参加しました

“すべての人に泳ぐよろこびを”を合言葉に、障がい者も健常者も同じように水泳を楽しめるように、様々な活動をされている「プール・ボランティア」。今回は、障がい児にマンツーマンで水泳を指導するボランティアに、エイチ・ツー・オー リテイリンググループの株式会社阪急ベーカリーから堀内孝浩さん、株式会社家族亭から石毛健二さんが参加されました。堀内さんは、普段から地域活動を通じて、子どもと接することに慣れていたので、役に立てるのではないかと、参加。実際に参加してみると、いろいろな障がい者の方がいらっしゃることで技術を教えるというより、一緒に楽しく水の中で遊ぶ気持ちで臨んでおられるそうです。石毛さんは、昨年、大阪マラソンにチャリティーランナーで参加したことをきっかけにボランティア活動に参加されました。参加してみると、障がい者の方が、感情豊かに楽しそうに泳いでおられ、そのサポートをしていることがうれしいと感じられたそうです。マンツーマンの指導ですがそれぞれの目的やレベルなどに合わせて、事務局の方がマッチングされますので、利用者も、ボランティアの方も安心して参加することができます。「水泳に自信はないけれど、子どもたちに水泳を楽しんでほしい」「子どもたちと一緒に水泳を楽しみたい」という方もぜひ、ボランティアにご参加ください。

レポート：H₂Oサンタ事務局 宇佐美幸男

参加者



株式会社家族亭 石毛健二さん



株式会社阪急ベーカリー 堀内孝浩さん

認定NPO法人
プール・ボランティア
事務局長
織田智子さん



毎月多くのボランティアさんの水泳指導のおかげで、子どもたちは満面の笑顔で元気に泳いでいます。優しく、そして厳しく、愛情いっぱいのご指導は、保護者にも大好評で「ぜひまた来てください。」とお声も多く聞いています。「やってみたい」と思われた方は、一度見学にお越しください。ご参加をお待ちしております。

つながりが始まる、チャリティーの輪が広がっていく。



Facebookをチェック!

H₂Oサンタが支援する約90の社会貢献団体。
その活動をご紹介します。

H2Oサンタ FB

検索



または右の二次元コードを読み取ってください。



ホームページをチェック!

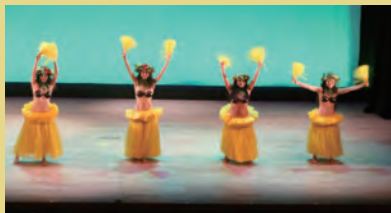
H₂Oサンタが取り組むチャリティーイベントのニュースや日々の活動を、
ホームページでご紹介しています。



『H₂Oサンタ チャリティーコンサート』次回は
10月19日(土)に開催予定です。



『ロハスフェスタ万博® 2019 Autumn』次回は11月
16日(土)・17日(日)にブースを出展予定です。



第8回『H₂Oサンタ チャリティーダンスフェス
ティバル』。次回は10月27日(日)に開催予定です。



『土曜日のサンタ チャリティートークイベント』
社会貢献団体の活動をご紹介しますイベントを阪急うめだ
本店9階祝祭広場で、毎週土曜日の午後で開催しています。



阪急うめだ本店9階と12階に常設の「チャリティーガイド」
では、社会貢献団体の活動をパネルと動画でご紹介。
応援したい団体を選べる募金箱も設置しています。

詳しくは

H2Oサンタ

検索



または右の二次元コードを
読み取ってください。



一般財団法人H2Oサンタは、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体です。
こども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした
4つの活動を行っています。

1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

3 ボランティアの仲介

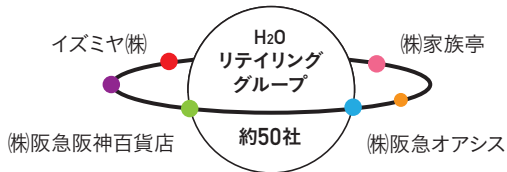
ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

4 調査・発表

こどもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

〔H2Oリテイリンググループ〕

生活総合産業グループとして、地域社会の発展と豊かな生活環境づくりに貢献しています。



◎賛助会員ご加入のお願い

H2Oサンタの活動を継続するためには、皆様からのご支援が必要です。
活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくお願ひいたします。

【会員種別】

法人会員 —— 1口 50,000円

個人会員 —— 1口 5,000円

【年会費】

お申込み方法

下記ホームページからお申込みください。

<http://www.h2o-retailing.co.jp/h2o-santa/>

問い合わせ先：一般財団法人H2Oサンタ事務局
TEL 06-6313-9304 10:00～18:00 ※火・日曜以外



facebookもフォローしてください。

